

ポラン通信

vol. 9



災害は明日来るかもしない！特集

2023年3月

東日本大震災から12年。この震災は、「ペットの同行避難」についても考えるきっかけとなりました。その後も地震、台風などの災害は多く、飼い主さんは誰でも常に、もしもに備える必要があります。今回の特集がお役に立てば幸いです。

災害時必要なもの？

優先順位 1番目

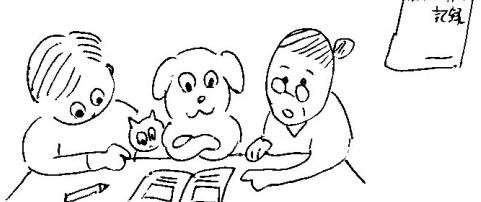
- 療法食、薬
- フード、水(7日分)※1
- 首輪、リード
- 写真と治療記録・連絡先※2
- 食器

優先順位 2番目

- ペットシーツ、うんち袋
- トイレ砂、箱
- タオル、ブラシ
- ガムテープ
- 洗濯ネット(猫)

※1 避難所でペットのために水をもらうのは難しいので、ウエットフードもあると脱水防止に良いよ！

※2 当院で配布してる「ペットの記録」を記入して備えておくと良いよ！



マイクロチップ入れてますか？

昨年6月、動物愛護法改正に伴い、マイクロチップの挿入が努力義務化されました。いくらペットを室内飼育していても、災害で窓が割れたりして離れ離れになることも考えると、マイクロチップの装着は強くお勧めいたします。
実際に過去の震災において、迷子のペットが飼い主の元へ返還されたのは、マイクロチップあり、迷子札つき首輪・鑑札(犬)つきの子であったと言わっています。

マイクロチップの挿入は動物病院で行うことができます。環境省への登録が義務とされておりますので、書類を動物病院で作ってもらい、手続きをします。もしもに備え、お守りとしてマイクロチップの挿入をお勧めします。
ご相談はいつでもどうぞ！！

災害時、ペットの同行避難のポイント！

みなさんキャリーバッグ選びは真剣に！！病気の時の通院にも、災害時の避難時にも使えるものにしましょう！「普段から使い慣れているもの」なら、動物も安心。いつ替えるの？今でしょ！！

中型犬以上の大きさの犬では首輪、胴輪、リードで一緒に歩いて避難するのが現実的だと思います。(首輪と胴輪と一本ずつリードをつけるWリードをお勧めします。)では、小型犬、猫はというと、猫は特にパニックになるため必ずキャリーにいれましょう。災害時にも通院にも使えるものとしては・・・

①リュックサックタイプ

②上と横が開くキャリーケース(なるべくハードタイプ)

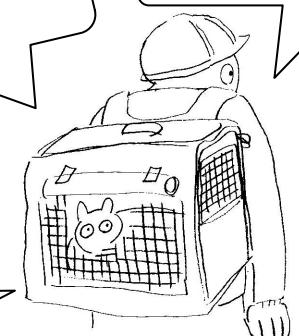
が良いでしょう。

Good!!

①リュックサックは徒歩、自転車、車など移動手段を選ぶ必要がなく便利です。なるべく大きめで四角いものが床においても自立して良いでしょう。

ウーバー〇一イーツくらいの
サイズが良いです。

両手があく！



②ハードキャリーは必ず上と横と二箇所開くものにすると、ペットの出し入れ時に便利です。災害時はガムテープなどで入り口を補強し、脱出防止しましょう。丸洗いもできてお勧めです。

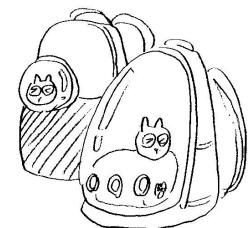
奥行きは
25cm以上

安定性があり、長時間滞在可能！

Bad!!

前面が透明だったり窓が付いていたりするリュックは人気ですが、ペットが怖がりやすく、くつろげないためお勧めしません！！柔らかいソフトバッグタイプは、床に置くと倒れたりして危険ですので避難所では不向きです。また、横にしか扉がないタイプはペットの出し入れがしにくいので、必ず上も開くタイプが良いでしょう。

全体的に小さめでデザイン重視。透明である必要性なし。



入り口一つだとペットを引っ張り出すことになる